

好評につき2回目の開催！

「知財データの証拠性確保に利用されるタイムスタンプ」

～導入各企業の事例紹介【最新版】～

近年、各企業における技術力の進歩に伴い、発明や特許の出願が数日違いで起こっており、その差は今後さらに短くなっていくと予想されています。

そういった競争の激化が一層高まる中、新たな考え方や運用を行っている事例がございます。

それは、膨大なコストや手間を掛け開発技術の全てを特許申請するのではなく、自分達が「いつ」その技術を開発したかという「非常に重要なファクター」を簡易的に証明可能にしておくというものです。

この考え方や運用に関し、「知財データの証拠性確保に利用されるタイムスタンプ」のテーマにて新しい事例や最新情報を踏まえてセミナーを開催いたします。

各社様のノウハウ保護方法や営業秘密情報管理の利用事例を昨年以上に多くご紹介しておりますので参加ご検討よろしくお願いたします。



【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【協力】 株式会社サピエンティスト

アマノビジネスソリューションズ株式会社

【プログラム（予定）】

- 技術のブラックボックス化戦略
 - ・ 知財戦略とは
 - ・ ブラックボックス化のメリット、デメリット
 - ・ ブラックボックスの対象とすべき技術・対象とすべきでない技術
 - ・ 具体的な管理と運用について

- タイムスタンプの仕組み
- 知的財産におけるトラブル
- タイムスタンプの海外動向
- タイムスタンプの証拠力
- 最新トピックス
- タイムスタンプの導入事例
 - ・ サーバー型ソフトウェア活用事例
 - ・ クライアント型ソフトウェア活用事例

【開催概要】

開催日 平成27年9月3日（木） 15時00分～17時00分

開催場所 会場：大阪大学中之島センター 5階講義室507

募集人数 50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

講師

下出 一 氏 （株式会社サピエンティスト 代表取締役/CEO）
（タイムビジネス協議会 TBFパートナー）

山口 学 氏 （アマノビジネスソリューションズ株式会社 TBP事業推進部）

参加費

発明協会グループ会員 **無 料**

一般（非会員）5,000円（テキスト代含む、消費税込み）

※一般の皆様へ（1）3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできません。

（2）一般参加者の受講料請求書は、開催日の10日前頃に郵送いたします

申込先

一般社団法人 大阪発明協会 (<http://www.jiiosaka.jp/>)

電話 06-6479-1926 FAX 06-6479-3930

